



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**58**号
平成25年8月7日

河津町議会だより



平成25年河津川鮎釣解禁

主な内容

- 平成25年第2回定例会（要旨）…………… 2 P
- 一部事務組合報告・議員月例会・議員説明会…………… 3 P
- 町長の行政報告（抜粋）…………… 4 P
- 一般質問…………… 5～7 P
- 議会の動き・私も一言…………… 8 P

平成25年 第2回定例会 (要旨)

第2回定例会は、6月19日、20日に開催された。

第1日目は、町長の行政報告に続いて、3名の一般質問と報告案件1件、同意案件1件、承認案件2件が審議された。第2日目には、議案7件、発議案件1件を審議され、すべて原案通り可決承認した。

●報告第3号 平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

町道大堰笹原線改良工事に伴う測量・設計事業8,715千円

●同意第3号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

河津町見高 土屋利信氏 (全員同意)

●承認第1号 専決処分の承認について

平成24年度一般会計の補正予算。歳入歳出それぞれ60,000千円を追加。地方交付税の増加分を財政調整基金に積立。

(全員賛成)

●承認第2号 専決処分の承認について

河津町税条例の一部を改正～税法改正等によるもの

(全員賛成)

●議案第43号 河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

税法改正及び国民健康保険税の値上げに関する条例

(全員賛成)

●議案第44号 平成25年度デジタル防災行政無線機購入契約について

今年度52台を購入。町及び消防本部・各分団に配布。県との情報一本化を図る。

(全員賛成)

●議案題45号 平成25年度河津町一般会計補正予算(第1号)について

歳入・歳出に110,533千円を追加し、総額3,810,553千円。公共施設整備積立分や

人事異動等による人件費の組み変えが主な要因。(全員賛成)

●議案第46号 平成25年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入・歳出に52,137千円を追加し、総額1,373,814千円。交付金の減少などを繰越金等で対応し、保険給付費や介護納付金等の支払増に対処。(全員賛成)

●議案第47号 平成25年度河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入・歳出から1,126千円を減額し、総額764,445千円。

人事異動に伴う人件費の減少とその補助金の減少。(全員賛成)

●議案第48号 平成25年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)について

人事異動に伴う人件費の減少や見高浜線水道管布設替工事・菖蒲沢加圧ポンプ設置等。

(全員賛成)

●議案第49号 平成25年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)について

人事異動に伴う人件費の減少による営業費用の減額。(全員賛成)

●発議第4号 重度障害者(児)医療費補助制度における精神障害者の適用改善を求める意見書の提出について

提出先 静岡県知事 川勝平太殿

(全員賛成)

議員月例会

4月25日議員月例会が開催された。勉強テーマは、(1)国民健康保険について(2)予防医療の体制についてであり、現状の仕組みや今後の対応につき、町の担当部署と協議した。医療保険制度の種類や国保財政の仕組み・助成金等現在の国民健康保険の現状について協議した。又、予防医療については、河津町第四次総合計画にある“一人ひとりが輝くまちづくり”や“豊かな心身を育むまちづくり”の取組状況や25年度の具体的取組について協議した。増大する社会保障に対応すべく、健康寿命の延伸を図る諸施策の必要性を議論した。

議員説明会

6月12日、河津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての議員説明会があった。24年度収支予測がほぼ確定し、25年度収支見込が出来た事による状況の説明を受けた。現行のままで行くと25年度は赤字額が大きくなり、基金保有額を全額取崩しをすると、何かあった場合の対応がとれなくなる。税率の改訂率、次年度以降の予測・国における現在の動向等々、多岐に渡り議論が行なわれた。

その結果、医療分・後期支援分・介護納付金の税率改正の説明を受けた。

一部事務組合報告

下田地区消防組合議会

4月1日、下田消防署にて、1市4町による新たな下田地区消防組合の広域統合の記念式典が行われた。西伊豆消防組合が解散し、下田地区消防組合に統合された。平成18年6月消防組織法の一部改正があり、同年7月「市町村消防の広域化に関する基本指針」が告示され、協議が進められて統合化になった。これは

- ①災害の多様化・大規模化への対応
- ②小規模消防本部の解消
- ③少子高齢化社会への対応により広域化の必要性がある事、平成28年度までにデジタル無線へ移行しなければならない。職員118人体制でスタートした。



下田地区消防組合記念式典

伊豆斎場組合議会

5月29日伊豆斎場組合議会が開催された。下田市選出議員の変更に伴ない、議席の確定と議長・副議長・監査員の選出が行なわれた。議長 坪井弘司(河津町) 副議長 稲葉勝男(南伊豆町) 監査員 山本鉄太郎(東伊豆町) が選任された。

東河環境センター議会

6月10日東河環境センター議会第1回臨時会が開催された。平成25年度からの管理者に相馬宏行河津町長が2年間就任。東伊豆町選出議員の変更に伴ない、議席の確定と議長・副議長の選出が行なわれた。議長 定居利子(東伊豆町) 副議長 土屋 貴(河津町)

平成25年 第2回定例会行政報告 (抜粋) 6月19日



●副町長の就任及び職員の人事異動

4月1日付けで前まちづくり推進課長の齊藤公紀氏が副町長に就任。35人の人事異動を発令、退職者は5人で、補充として一般行政職3名、幼稚園教諭1名採用。今年も町から1名を賀茂健康福祉センターへ派遣、県から1名保健福祉課へ派遣。それぞれの期間1年。

●消防救急広域化

4月1日西伊豆広域消防組合が解散し、西伊豆町、松崎町が新たに加った。1本部、2署、2分署、総員118名の下田地区消防組合が誕生。

●防災情報メール配信事業

役場職員の携帯電話への登録が完了し、4月16日の職員動員訓練から配信を開始。町民も防災情報メールの登録し積極的な活用を。

●デジタル防災行政無線整備事業

平成26年4月1日の運用開始を目標に静岡県との共同事業として中継局の整備を実施。25年度に統制台の設

置工事とデジタル防災行政無線機52台を購入。26年度に42台を追加購入の予定。

●まちづくり推進課関係事業

24年度事業の小水力発電事業が、3月29日に上佐ヶ野公民館横に農業用水を利用した小水力発電施設が完成し稼動。

「食と農業による地域の活性化」として河津産花卉のブランド化推進のため、町内生産の花を観賞できる温室を河津バカデル公園入場ゲート横に設置。26年1月に全国カーネーション静岡大会が東伊豆町と河津町で行われるので、今年はカーネーションの植栽を行い全国にPRしていく。

●地域活性化事業

8月24日、25日の2日間観光協会、旅館組合、商工会、河津川漁協、漁業経営振興会などの共催を受け「河津川鮎レディース&ペアフエスティバル」を開催。事業運営は「河津川非出資漁業協同組合」に委託。

●町税関係

町税の収納率向上のため高額滞納者の滞納整理事業を静岡県地方税滞納整理機構に移管。滞納者10件、滞納額13,241千円。

●行政相談委員

4月1日付けで梨本の板垣みや子氏が総務大臣より行政相談員に委嘱された。又、

下峰の山口博行氏も同時に三期目を再任された。

●国民健康保険税の改定

25年度以降の国民健康保険特別会計は厳しい状況が見込まれるため、健全な国民健康保険事業の運営を図るため保険税の改定を行う。全体で6.6%の増額。

●予防接種事業

予防接種法の一部が改正され4月1日から施行。定期接種の対象疾病にヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、子宮頸がんが追加され各市町の責任で予防接種の実施。

●河津町小売事業者強化事業補助金制度の創設

町内の中小企業者、同業者団体及び新規起業家が、ホームページ等の活用による事業拡大等に対する事業者支援の補助金制度。

●有害鳥獣駆除対策

有害鳥獣駆除に対する報奨金をサルに加えてイノシシ・シカも5月1日から制度化し交付。伊豆太陽農協も単独で助成事業を創設。

●伊豆縦貫自動車道河津下田道路第Ⅱ期区間事業

平成24年度に事業化され25年度事業費として約6億円が予算決定。この事業推進対応のため、6月1日から建設課職員7人を「伊豆縦貫道推進スタッフ」として国土交通省への協力支援。

一般質問

子育て事業の方向性、認定こども園は町長—子育て環境づくりの充実と基礎調査と対策

質問…予算計上された子育て事業の方向性は。

町長…安心して子育て、できる環境づくりのため、家庭のニーズを把握し、事業計画に反映したい。

保健福祉課長…ワーキングチームを設けた。有識者から意見を求め児童関連施設の整備構想をまとめていく。

質問…保育園に申し込みの段階で認められず、預けたくても預けられない人達がいる。今後の対応は。

保健福祉課長…待機児童は一人もいない。今年度予定

している基礎調査のもと、子育て事業の充実を図る。

質問…待機児童はゼロではない。認定こども園という施設整備の考えはあるか。

保健福祉課長…認定こども園は保護者の就労の有無にかかわらず施設の利用ができる施設である。幼稚園型等4つのタイプがある。

町長…今年度、子育て支援事業の計画策定のなかで、子育てする方のニーズを捉えた上で、こども園の議論もしていく。

国民健康保険の仕組み、運営費用、予防は

町長—医療費の増加傾向と削減目的事業推進

質問…国民健康保険の運営の仕組みは。運営費の不足金は発生しているのか。

町長…平成24年度の実績で町の人口の約39%、約3千人が被保険者とし加入している。年々高齢化も進み医療費も増加傾向にある。医療費削減を目的とした事業に取り組みたい。

町民生活課長…運営の仕組みは、加入者から町に納税されると、自己負担分を受診者が支払う。残りの医療費を国民健康保険団体連合会に請求しそれに基づいた審査がされ、医療機関に支払わ

れる。国保連合会から町に請求がされ支払われる仕組みです。運営費は支出合計13億7,381万円、歳入合計13億4,490万円の見込。不足の2,900万円は保険税の増額と支払準備金の一部を取り崩して対応する。

質問…医療費の削減対策の健康予防事業とジェネリック医薬品の活用は。

町民生活課長…生活習慣病予防のためにも、特定検診等と人間ドック受診費用助成に取り組んでいる。ジェネリック利用は個人の希望カードを配布しているので利用してほしい。



渡邊 弘 議員

人口対策と建築業経済対策は

町長—新たに助成制度を

質問…緊急経済対策住宅建築等助成事業が平成25年12月31日で終了となるが今後どうするのか。

町長…緊急経済対策事業の終了に伴い、新たに河津町の木造住宅建築等助成制度を創設したい。期間は平成26年1月1日から平成30年12月31日の5年間と考えている。

質問…子育てファミリー住宅支援事業と同様に、河津に家を建て住む人口支援事業はできないか。

町長…福祉事業と商工振興事業で別の事業形態であり定住人口増対策として取り組みは課題が多いと考えるが、研究課題とさせていただきたい。

質問…福祉事業、活性化事業と縦割りにせず取り組んでほしい。

町長…町の支援制度を町内事業者の方も利用してほしい。

旧梨本発電所稼働事業は

町長－調査段階で議会の承認案件でない

質問…梨本発電所は明治42年河津川水力電気会社設立、大正3年堰堤と水路工事、建物が完成し、最大出力477kmで営業開始した。しかし、昭和47年1月には維持管理コスト増大のため営業停止となり、事業主の東京電力は、土地、建物、設備を町に売却した。この物件に対し、社団法人マンパワーが「小水力発電事業に伴う現地調査」を町の承認を取り申請した。その結果マンパワーは経済産業省エネルギー庁の平成25年度「新エネルギー等導入促進基礎調

査候補」に選定された。調査結果は平成26年3月31日迄に発表となる。適当となると平成27年9月末日の試運転を計画している。町長は議会の承認、報告、審議をすべきと思うが…また水利権は、国、県、町のいずれか…また補助率は…
町長…調査の段階なので、現時点では議会の承認、報告する案件ではない。
副町長…2級河川河津川の涌水による占用で静岡県の許可が必要となる。民間の事業であり、補助率等は町は把握していない。

大滝遊歩道の通行制限は

町長－土地の取得も管理管理料の支払も含めて事業化に取り組む予定はない

質問…大滝遊歩道は平成23年9月台風15号により、歩道上部の崩落事故により通行止となり、歩行者の安全確保の為、予算計上したが、地主との交渉不調により却

下し、今日に至っている。今後の工事の見通しはどうか…
町長…土地の取得、管理料の支払も含めて事業化に取り組む予定はない。

バガテル公園運営事業は

町長－売上は前年対比106%、利益は160万赤字

質問…1)専務取締役の退任と後任、2)花卉観賞用温室設置の目的と今後の運営、3)バガテル公園中期計画の成果について

町長…任期は23年12月～25

年3月迄1年4ヶ月、退任理由は、一身上の都合、後任は町内で、任期は26年6月迄、給与は会社給与規程による。後任の取締役は取締役会及び株主総会に諮る。



坪井弘司 議員

中期経営計画の目標値114.7%は達成できず106%。利益は新年度より160万赤字増。
課長…全国カーネーション静岡大会終了後は、切り花体験も含めて農業経営振興会等と協議する。

サンシップ今井浜事業化は

町長－体験を中心とした施設で足湯も設置、来年4月の運営開始にしたい。指定管理予定者は見高区が辞退したので、検討中である。

風力発電計画の進捗状況は

町長－県の民有林、国有林の保安林解除遅延のため。

国民宿舎の財産区協議は

町長－国民宿舎整備検討委員会を設置し協議中。

小学校の統合推進は

町長－場所、施設、津波等問題をクリアして考える。

風しんの予防について

町長－現時点では助成の考えはない

質問…6月19日現在、全国の風しんの患者数は10,102人と発表された。生まれてくる胎児への影響が怖い風しんの予防対策はどうか。

感染が広がってからは間に合いません。子育て支援の立場からも助成をしてワクチン接種にふみきるべきと考えるがどうか。

保健福祉課長…風しんの内容について、症状は軽い風邪症状から発疹・発熱・リンパ節が腫れるが主症状だ

が自然に治癒する。怖いのは合併症のリスクで、妊娠初期の女性がかかると胎児に感染し、先天性風しん症候群という影響の出ることがある。現在患者の多くは20～40才の男性が8割を占めている。予防接種法の谷間世代といわれている。対策としては町民生活課・保健福祉課・教育委員会に厚労省のチラシ、感染に注意しましょうを置き予防を促している。町のホームページでも危険を訴えている。更に7月号広報かわづで特集記事を組んだ。



小林和子 議員

6月11日現在、県の患者数累計で109名。賀茂保健所は4名。

第2回定例会後、風しんの助成制度について県・町のうごき

6月27日県より「風しんワクチン接種緊急対策事業費助成について」7月から創設の案内。

同28日これを受け、町は「助成にむけ早急に要綱を整備し回覧する」方針をだす。

7月各地区へ「予防接種費用の一部を助成します」が回覧される。要綱は下表の通り。

手続き問い合わせは保健福祉課へ（電話 34-1937）

風しん予防接種費用の一部を助成します

★助成期間：平成25年7月1日～平成26年3月31日

★対象者

【年齢要件】 ●風しんに罹患したことなく風しん予防接種を2回受けたことがない19歳以上の方で河津町に住民登録されている方	【妊婦要件】 妊娠を予定又は希望している女性	★助成額：いずれかのワクチン1回限り
	【妊婦の夫の要件】 妊娠している女性の夫	
	【同居要件】 妊娠している女性と同一世帯で夫以外の同居者	

麻しん・風しんワクチン(MR)	5,000円
風しんワクチン	4,000円

(平成25年7月 回覧より)



川下 英一 議長

議会の動き

<議長の活動>

- 5月・町村議会議長会総会
・郡議長会総会
・全国議長研修会
- 6月・地方議会議長連絡協議会総会、政策研修会
- 3月～5月・例月出納検査報告書受領(2・3・4月分)

<町議会の活動>

- 4月・議員月例会
- 3月～6月・議会広報編集委員会(誌面作成・編集・校正・校了)
- 3月・学校給食運営委員会
・社会福祉協議会理事会
・文化の家運営協議会
- 5月・自衛隊協力会理事会
・社会福祉協議会理事会
・国保運営協議会
- 6月・議員説明会(国保について)
・議会運営委員会

<一部事務組合>

- 4月・下田・西伊豆地区消防救急広域化記念式典
- 5月・消防組合全員協議会
・斎場組合臨時議会
- 6月・東河環境センター臨時議会

<諸会合>

- 3月・交通安全対策委員会
- 4月・春の交通安全街頭広報
- 5月・食品衛生協会河津支部総代会
・下田警察署管内防犯協会総会
・河津町自衛隊協力会総会
・河津町農業経営振興会総会(副議長)
・河津町商工会総代会(副議長)

- ・河津町観光協会総会
- 6月・賀茂支部消防操法大会

<町の行事>

- 3月・河津中学校、各小学校卒業式
- 4月・わかば保育園入園式
・河津中学校、各小学校入学式
・消防団入団式
・さくら幼稚園入園式
・踊り子遊歩道開通式(副議長)

～私モ一言～

若がえり健康教室

私が介護予防教室に携わって8年が経ちます。4名から始まった教室も、今では定員を越えるほどになり、「元気なうちから予防しよう」と意識の高い方々が、自由グループを発足して活動を行なうまでになりました。

自立しながら、元気に「老い」を生きていくためには、老化・悪化してからではなく、元気なうちからが有効です。日常の生活機能の維持や向上・全身の持久力と筋肉を保つ運動が大事です。同時に「楽しむ・心地よさ・仲間との交流」も大切です。

教室には約束事があります。「頑張り過ぎないこと・良い加減で帰りましょう」



運動指導中です

です。「もっと早くから参加すればよかった」と好評で、筋肉を元気にするトレーニングや大笑いしてしまう頭の体操など、楽しさ満載の教室です。毎日の元気のために、「もう歳だから」とあきらめずに、「10年後も今の体力で、自分らしく生きる」ことのヒントがこの教室にはあります。気軽に参加してみてください。

「だんだん」 斉藤文子

編集後記

猛暑が続いています。熱中症の予防対策をして健康に気をつけましょう。

年に4回発行の本誌です。皆さんからのご意見・感想をお寄せ下さい。(小林)

【編集委員】

萩原清男 坪井弘司
渡邊 弘 土屋 貴
小林和子